

アルバックの軌跡

1952年の創業当時、日本ではまだ真空技術は普及していませんでした。そのような状況から、常に新しい技術に果敢に挑戦し、さまざまな産業界のお客様の要求に応え、市場を切り拓いてきました。アルバックはスマート社会の潮流の中で技術革新に挑戦し続けます。

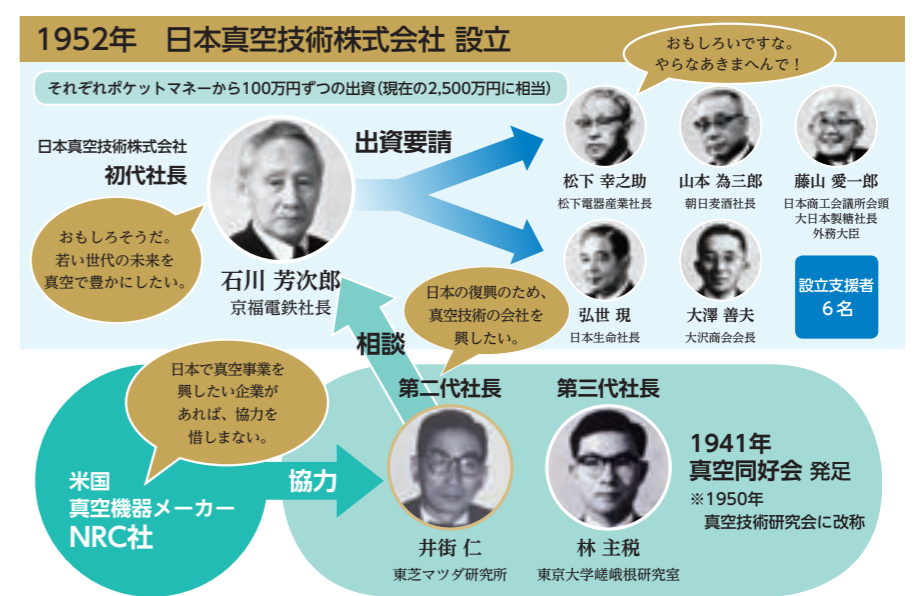
新しい業界へのチャレンジ

アルバックは、創業から一貫して真空を自由に操る技術を研鑽し、自動車から化学・医薬・食品、冶金、半導体・電子部品、液晶パネル (FPD)、有機ELの量産に至るまで、産業構造の変化とともに新しい技術に果敢に挑戦し、応用分野を広げてきました。

今後もあらゆる産業や生活環境がエレクトロニクス化されつながらスマート社会の実現に向け、IoT、ビッグデータ、人工知能、自動運転などの次世代の暮らしを真空技術で支えていきます。

設立物語

1952年、日本が戦後復興に乗り出そうという時代に、「真空技術で日本の産業に貢献しよう」と集まった若い研究者たちの熱い情熱に心を動かされた6人のエンジェルが出資して誕生しました。



1952~

自動車



自動車リフレクター



真空蒸着装置

1960~

化学・医薬・食品



医薬品



可塑剤用高真空蒸留装置

1962~

金属・鉄鋼



特殊鋼



100kg用誘導式溶解炉

1973~

液晶表示



電卓の液晶表示画面



透明導電膜成膜装置

1975~

半導体



コンピュータ Courtesy of IBM Archives



システム731

1983~

電子記録媒体



コンパクトディスク



インライン式スパッタリング装置

1992~

FPD



フラットパネルディスプレイ



液晶ディスプレイ製造装置

2016~

有機EL



有機ELディスプレイ



有機EL製造装置

沿革

- 1952** ● 日本真空技術株式会社設立
- 1955** ● 東京都に大森工場を開設、国産装置の製造に着手
- 1959** ● 神奈川県に横浜工場を開設
- 1964** ● 初の海外法人を香港に設立
- 1968** ● 神奈川県茅ヶ崎市に本社・工場完成
- 1969** ● 輸出促進のため、英文社名を「ULVAC CORPORATION」に変更
- 1971** ● 西欧市場開拓の拠点として西ドイツハンブルグに現地法人を設立
- 1972** ● アルバック初の研究機関として超材料研究所を開設
- 1975** ● 北米事務所を開設、同年に対米輸出の拠点として北米に現地法人を設立
- 1977** ● 九州地区の営業活動の拡大のために鹿児島県に九州アルバック株式会社 (現・アルバック九州株式会社) を設立
- 1982** ● 台湾に現地法人を設立
- 茨城県筑波学園都市 (現・つくば市) 市内に筑波超材料研究所を設立
- 1983** ● 中国に北京事務所を開設
- 1987** ● 大型装置の生産体制強化のため、青森県に東北真空技術株式会社 (現・アルバック東北株式会社) を設立
- 1990** ● 半導体製造装置の専門工場として静岡県に富士裾野工場を開設
- 1995** ● 中国に真空ポンプの生産拠点を設立
- 韓国に現地法人を設立
- 2001** ● 社名を株式会社アルバック (英文名: ULVAC, Inc.) に変更
- 2002** ● シンガポールに現地法人を設立
- 2003** ● 中国における本格的生産とフィールドサポートの拠点を設立
- 2004** ● 東証一部上場
- 本社・工場 (神奈川県茅ヶ崎市) 新社屋完成
- 2005** ● 韓国に大型液晶ディスプレイ製造装置の大規模生産拠点を設立
- タイに現地法人を設立
- 韓国と台湾に研究開発拠点を設立
- マレーシアに現地法人を設立
- 2006** ● 台湾に大型液晶ディスプレイ製造装置の生産子会社を設立
- 2007** ● インドに拠点を設立
- 2010** ● 研究開発強化のため、千葉県の富里工業団地に千葉超材料研究所を新設移設
- 2011** ● 韓国での研究開発強化のため、韓国超材料研究所を設立
- 2015** ● 茨城県つくば市に未来技術研究所を設立
- 2016** ● 中国で大型ディスプレイ用装置の製造を開始
- 2018** ● 本社・工場 (神奈川県茅ヶ崎市) 竣工から50周年を迎える

1952

1960

1970

1980

1990

2000

2005

2010

2018